

発信力と商談力を誇る提携機関ネットワーク、圧倒的情報力をご活用ください。

【入会のご案内】

当協会では、イスラム市場（東南アジア・中東・アフリカ・中央アジア・南西アジア）への輸出・進出や、国内・インバウンドなどのビジネスを行う企業様へ、一般会員へのご加入をおすすめしています。イスラム圏の事情に詳しいコンサルタントが、質の高いサポートを行います。

10のメリット

1. 「ジャパンハラル・ビジネスニュース」配信（随時）、および会員限定ニュース配信（毎月～金曜）。
※送信先E-mailアドレスは、1会員企業様につき5名様（大企業10名）まで登録が可能です。
2. ハラル・ジャパン協会一般会員であることの記載が可能です（貴社Webサイト、名刺等）。
3. 社内オンライン研修会を1年に1度、優先的に実施します。

4. ハラル・ジャパン協会認定「推奨マーク」を無償で発行します。

※このマークはムスリム（イスラム教徒）だけでなく、ベジタリアンにも対応できるのがメリットです。厳正な確認を行った商品・メニューに対して発行します
※5品まで無償使用可、「推奨マーク」証書付



ハラル推奨マーク 証明書



ハラル推奨マーク

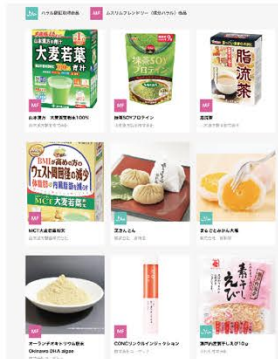
5. 日本製ハラル商品を海外バイヤー向けに情報配信する、日本最大級のオンライン・ショーケース「JIOHAS (Japan International Online Halal Showcase)」(https://jiohas.com/)への無償掲載。



JIOHAS (英語版)



JIOHAS (日本語版)



※品数無制限で、ハラル認証商品または成分ハラル商品を掲載します

6. 国内外バイヤー・ディストリビューターとの商談・マッチングの紹介および実施をします。
※オンライン商談等含みます



7. 国内外の展示会・商談会の協会ブースへ会員価格にて参加できます。
※一部無償もございます



9. ムスリム向け英語メディア「Japan Muslim Guide」
https://muslim-guide.jpへの無償掲載および優待広告掲載ができます。



※12か月未満、バナー等は指定サイズにてご入稿ください

10. ムスリム・ベジタリアン対応ピクトグラムを無償提供します。



優待特典

ハラル・ジャパン協会コンサルティング、テストマーケティング等は定価の20%OFFにて提供します。

※1年間に何度でも使用可能ですが、他のキャンペーンとの併用はできません

協会概要

商号／ 一般社団法人ハラル・ジャパン協会

設立／ 2012年10月

所在地／ 本部事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル1F
事業部：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-14-3 ベルビーTO 1F
大阪本部：〒556-0015 大阪府大阪市浪速区敷津西2-3-12
大田町レジデンス1F
沖縄支部：沖縄県那覇市内

理事・監事・事務局／ 代表理事：佐久間 朋宏 副理事長：島居 里至
理事：千葉 弘樹、宮島 一人、カラフチ 唐太郎 監事：水野 尚博
事務局長：安部（真由実）ひろ子 広報：土岐 隆子
東京事務局：眞崎 春香、株本 あいか、進藤 千恵
大阪事務局：サルマ サイダー アッザーラ
沖縄支部：鎌田 茂明

業務提携金融機関／ 秋田銀行、七十七銀行、東邦銀行、常陽銀行、足利銀行、群馬銀行、東日本銀行、横浜銀行、静岡銀行、清水銀行、十六銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都中央信用金庫、中国銀行、トマト銀行、百十四銀行、阿波銀行、四国銀行、琉球銀行 等38金融機関

海外グローバル支局／ マレーシア・インドネシア・シンガポール・タイ・フィリピン・台湾・中国・バングラデシュ・インド・パキスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・UAE・バーレーン・オマーン・サウジアラビア・イラン・トルコ・エジプト・南アフリカ・セネガル・チュニジア・モロッコ・ナイジェリア ※自社拠点またはパートナー企業ネットワーク

【ご相談・入会申込み等、お気軽にお問い合わせください】



(代)TEL.03-4540-7564 FAX.050-3730-7549
https://jhba.jp

お問合せフォームは
こちらから



世界に約20億人

“イスラム市場への挑戦”をトータルサポート

セミナー・
社員研修・
外国人
人材派遣



ハラル認証
コンサルティング
(可能性診断・
ハラル認証
団体選定)

ムスリム・
ベジタリアン
インバウンド
対応



ハラルビジネス社員研修・ハラル認証取得可能性診断 圧倒的実績 NO.1!!

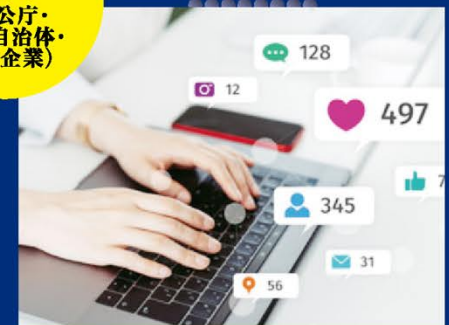
商品開発
コンサル
ティング



広報・PR・
販売促進
(官公庁・
地方自治体・
民間企業)



輸出・進出・
調査・テスト
マーケティング



一般社団法人
ハラル・ジャパン協会
Japan Halal Business Association

協会案内

ハラルビジネスに必要なセミナー・企業研修から、 ハラル認証取得のコンサルティング、 PRまでマーケティング戦略構築をトータルサポートします。



成長著しい東南アジア・中東のイスラム諸国への輸出・進出、またこれらの国々から日本へのインバウンド需要は、これからも確実に増加することが見込まれ、マーケットとして大きな魅力があります。この市場を攻略するためのキーワードが「ハラル」です。当協会では国内外の最新情報に基づき、ハラルに対する正しい理解を深めながら、市場開拓のための戦略構築を支援します。

またハラルビジネスに特化したコンサルティングを提供することで会員企業様に貢献し、ひいては日本経済全体の活性化、地域の活性化に貢献したいと考えています。日本の美しいもの、優れた技術や商品・サービスを世界中のイスラム教徒に届けるとともに、ハラルの魅力や文化を日本へ普及・浸透させていきます。

拡大するムスリム市場！ 世界人口の約4人に1人がイスラム教徒、 2050年には27億6000万人に急増。

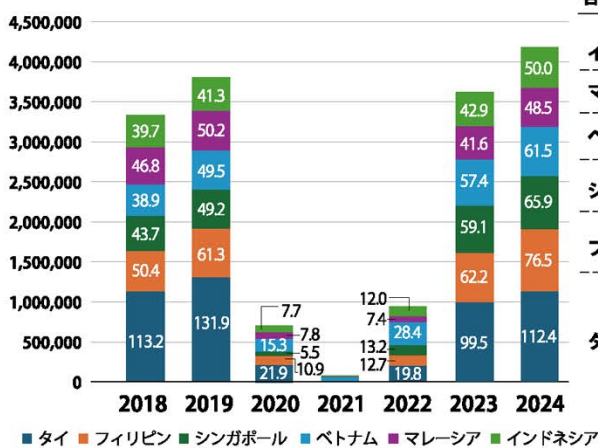
現在、イスラム教徒(ムスリム)の数は急増しています。日本では約700人に1人がイスラム教徒であるといわれ、まだそこまではマジョリティという感じは受けないかもしれませんが。しかし2010年、世界で約16億人であったムスリムは、2050年までに27億6000万人になるとされています。2100年までには、イスラム教徒の数が世界人口の約3分の1となり、世界最大の人数になるとも予測されています。日本においても、今後急拡大するイスラム市場のスピード感に対応できる体制を整える必要があります。

グローバル化に伴う在日ムスリムの増加や、訪日外国人増加で高まる「ハラル」需要。

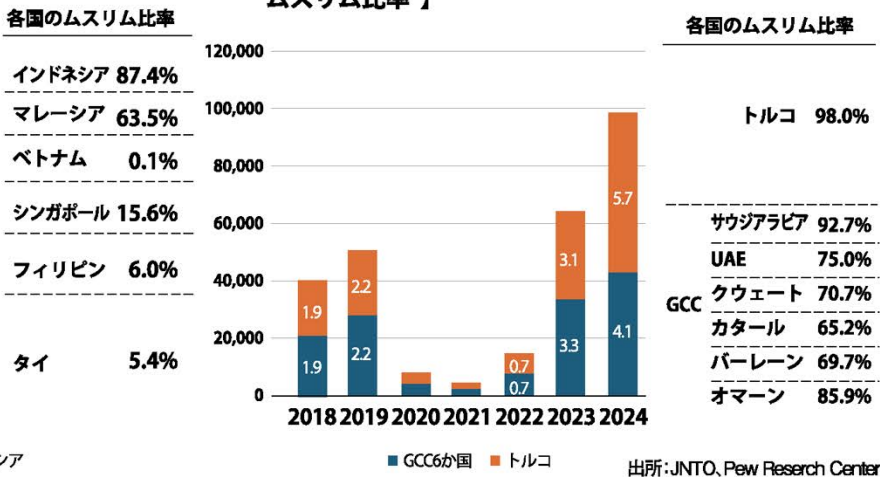
訪日外国人数は、コロナ禍を超え、過去最高に達すると予測されています。その中でも特にムスリムの観光客は増加傾向にあります。現在の出生率を踏まえると、ムスリムの割合は今後高くなり、マーケットは拡大の一途をたどるでしょう。

飲食業などのハラル対応の推進は世界からの評価を高めることにつながります。また世界的な健康食ブームや、和食ブームの中、ハラル認証された日本の食材も、国外のムスリムに向けて需要が高まると考えられます。

【東南アジアの訪日外客数推移(万人)とムスリム比率】



【中東の訪日外客数推移(万人)とムスリム比率】



ハラルビジネスに取り組む企業・自治体・団体・店舗に合わせた さまざまなサービスを提供します。

【サービス内容 & 事例】

セミナー・社員研修・外国人派遣

ハラルビジネスにおいて、イスラム教徒の行動様式の理解は必要不可欠です。「ハラルとは?」「イスラム教徒とは?」といった基礎的な内容はじめ、体験セミナーやハラル認証講座のほか、ハラルだけにとどまらない「食の多様性」についてのセミナーを実施しています。さらに深い理解をご希望の場合は、プロ向けの講座・セミナーもご用意しています。

事例



早稲田大学ビジネススクール様
「いなば食品寄附講座」

早稲田大学ビジネススクールにて「ハラル圏への事業展開: 中小企業の戦略と課題」についてのセミナーを実施。「グローバル化のための商品・人事戦略とサステナビリティへの取り組み」「他社事例の研究」「資金力やマンパワーのない中小企業のグローバル市場における成長戦略」などについての講義を行いました。

商品開発コンサルティング

ムスリム向け商品開発(モノ・サービス・おみやげ・メニュー含む)としてさまざまな商品開発のお手伝いをいたします。ハラル認証のない原材料でも、成分を確認して何をえばムスリムに安心して提供できるかなど自治体やホテル、旅館などのメニュー開発からお土産品の開発、輸出ではイスラム圏の国ごとに売れそうな商品開発ができるようにコンサルティングいたします。

プラスメモ



海外・国内視察ツアー

日本のモスクやムスリムが普段購入しているお店などの視察ツアーなどを実施しています。日本に就労、留学、在日しているムスリムと触れ合い、彼らの行動様式や考え方など直に知ることができます。海外ではインドネシア、マレーシア、シンガポール、中東等の展示会に出向き、取引商品を見ることで日本では気づかない彼らが本当に欲しいものを知ることができます。

ハラル認証コンサルティング(可能性診断・ハラル認証団体選定)

ハラル認証は認証団体まかせではいけません。自分たちで考え、どこに取得をまかせるかを選択することが必要です。「商品をどの国で販売するのか」「市場にマッチしているか」「ハラル認証が本当に必要か」「予算はどのくらい必要か」など事前に明確にしておかなければなりません。当協会ではハラル認証団体ではないため、各認証団体の特色や実績を比較し、中立的な立場で情報を提供することができます。

プラスメモ



ハラル認証取得サポート

ハラル商品を製造する際、原材料から製造工程までの確認が必須です。輸出市場とハラル認証のミスマッチが起こることもあります。当協会では事前に工場診断とともに、商品のハラル認証取得の可能性を図り、適切なアドバイス・選定を行います。ハラル認証がなくても成分的にハラルとみなすことができれば、ハラル商品としての対応も可能です。

広報・PR・販売促進(官公庁・地方自治体・民間企業)

ハラル商品は認証取得ができれば終わりではありません。ハラル商品のPRは一般とは異なり、記載内容などハラルの知識が必要となります。当協会では、これまでに培った知識と実績で商品に合わせたPR・広報を戦略的にサポートします。

事例



株式会社ドン・キホーテ様
「ジョウネツ・バイ・ドンドンドンキLot10(ロット・テン)店」

マレーシアの首都・クアラルンプールにある「ジョウネツ・バイ・ドンドンドンキLot10(ロット・テン)店」にて飛騨牛海外推奨店の認定式を開催。ハラル認証を取得した飛騨牛を広く現地ムスリムへアピールするための施策で、日本・マレーシアの両メディアが多数出席。飛騨牛の試食会や飛騨牛メニューフェアのPRなどが行われ、大きな話題となりました。

ムスリム・ベジタリアンインバウンド対応

訪日外国人には、ヴィーガンやベジタリアンといった食の傾向や、宗教上の禁忌もさまざまあります。インバウンド対応を考える上で「ハラルだけ」「ヴィーガンだけ」といった限られた内容では意味をなしません。当協会では、飲食店やホテル・宿泊施設のほか、商業レジャー施設、企業、大学といったあらゆる業態ごとの問題点を洗い出し、包括的に対応します。

プラスメモ



当協会では、飲食店様向けのインバウンド対応メニュー提案のほか、従業員様における接客マナーセミナーやマニュアルの作成などを行っています。独自の国内外モニターネットワークを通じて「ムスリム試食会」を実施し、学生、主婦、子どもなどターゲット別のムスリムのリアルな意見を聞き、メニュー開発を改善することが可能です。またヴィーガンアドバイザーやコーシャジャパンとの業務提携を通じ、各ジャンルに精通した包括的なインバウンド対応のサポートも可能です。

輸出・進出・調査・テストマーケティング

輸出先でのテストマーケティングはかせません。食べたことがない、見たことがないものに人はなかなか手を出しません。またMade in Japanだけで売れるわけではありません。その国のムスリムが買えて選んでもらえる商品作りが大事です。実際に目で見て調査ができる「オンライン試食商談会」などの実施も可能。高メリット低リスクな輸出先・方法を提案します。

事例



ふぁん・じゃぱん株式会社様
「FAN JAPAN SHOP(三井アウトレットモールKLIAセパン内)」

クアラルンプール国際空港敷地内にある「三井アウトレットモールKLIAセパン」の「FAN JAPAN SHOP」にて宮城県専用コーナーを設けて販売。宮城県の観光PRキャラであるむすび丸を使ったのぼりやポスターを掲示。背景の富士山とのコラボレーションが日本らしさを強調し、経済効果をもたらしました。